

シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭基礎	2	3	必修	国際人文科	

1. 科目概要および目標

家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 成績評価

・定期テスト

1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施する。

・提出物は、ワークノート、作品提出、ファイル（授業プリント）、授業での課題等にて評価する。

・ホームプロジェクト（夏休みの課題）

・授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60	%	作品・提出物	20	%	出席、授業・実習態度	20	%
-------	----	---	--------	----	---	------------	----	---

3. 使用教科書・教材

教科書：新家庭基礎（実教出版）

副読本：ニューライブラリー家庭科 資料＋成分表（実教出版）

4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業やロールプレイングなどを取り入れる。また、被服実習や調理実習では、すぐに取り組めるように予め準備を整える。

5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

(1) 生活を見つめ直す。

(2) 生活の課題を明らかにする。

(3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。

(4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目などで、作品や提出物などを重視して評価する。また、作品については、実習の態度や過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関係で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。

専攻する分野にもよりますが、食物系なら生物や化学、住居系なら物理や現代社会を学んでおこう。

大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。

年間授業計画

那覇西高等学校

月	章	節	単元	配時	マーク欄
4			オリエンテーション	1	
4	2編 生活をつくる	1. 人と食物とのかかわり	①人は何を食べてきたのか ②日本の食文化の形成	12	
	1章 食生活をつくる	2. 私たちの食生活	①私の食生活 ②ライフステージと食事		
5		3. 栄養と食品のかかわり	③今の食卓は？日本の食卓の課題 ④食を楽しむ		
		4. 食品の選び方と安全	①食品の栄養素とからだの成分		
		5. 食事の計画と調理	②炭水化物とその食品 ②脂質とその食品		
		6. これからの食生活を考える	③たんぱく質とその食品 ④ミネラルとその食品		
			⑤ビタミンとその食品		
			①食品の表示と保存 ②食品の衛生と安全		
			①食事摂取基準と食品摂取量のめやす		
			②家族の食事計画 ③調理から片づけまで		
			①日本の食料はどこから ②食の安全と環境への配慮		
			第1回調理実習：親子丼・すまし汁・お浸し		
6	2編 衣生活をつくる	1. 人と衣服のかかわり	①人と衣服のかかわり ②ライフステージと衣服	6	
		2. 衣服の機能	①衣服の機能		
		3. 衣服の素材を見てみよう	①衣服素材の種類 ②繊維の種類と特徴		
		4. 衣生活の管理	③衣服素材の性能		
		5. 衣生活と資源・環境	①衣生活をつくる ②衣服の手入れ		
		6. すべての人が快適な衣生活を	①衣生活と資源・環境		
			①安全な衣生 ②すべての人が快適な衣生活を		
			◎定期考査(期末)		
	食生活をつくる	5. 食事の計画と調理	第2回調理実習：硬ジュース・アサ汁・もずく酢・ちんすこうお弁当献立づくり（夏休みの課題に向けて）	2	
				2	
9	1編 人とかわって生きる	1. 自分を見つめる	①これまでの自分を振り返って	5	
	1章 自分らしい生き方と家族	2. 自立した生き方、共に生きる人生	②これからの自分をつくる		
		3. 共に生きる家族	①人生80年を考える		
			②自分らしく生きること、共に生きること		
			①家族って何だろう？		
			②パートナーとの出会い ③ライフワークと家族		
			④変化していく家族 ⑤家族の抱える問題とそのサポート		
10	2章 子どもとかわる	1. 子どもを知る	①未熟なだけではない子ども ②すこやかな育ちのために	8	
	3章 高齢者とかわる	2. 発達のすばらしさ	①人の発達と保育 ②からだの発達 ②心の発達		
		3. 子どもの生活	①子どもの成長と生活 ②子どもと遊び		
		4. 親になることを考えよう	①子どもの人間形成と親の役割		
		5. すこやかに育つ環境	②子どもを生み育てるということ		
			①子どもが育つ環境		
			②出産と子育てのための社会的支援		
			③子どもの権利と福祉		

月	章	節	単 元	配時	マーク欄
11		1. 高齢社会に生きる 私たちの暮らし	①高齢者とかかわる ②高齢社会の状況	5	
		2. 高齢者を知る	①高齢者の心身の変化②高齢者の生活③高齢者の生活の課題		
		3. 高齢者の自立のために私たちが できること	①高齢者の生活を支える介護 ②介護の心と介護技術		
		4. 豊かな高齢期を迎えるしくみ	①大きな介護不安 ②介護サービスの利用		
		1. 支えあう暮らしとは	①社会保障制度の仕組み		
		2. 私たちの社会福祉	①共に生きるとは ②地域で支えあう暮らし		
		3. 地域社会の一員としての ボランティア活動	①ボランティア活動とは		
	2編生活をつくる 3章 住生活をつくる	1. 人と住まいとのかかわり	①人と住まいのかかわり ②ライフスタイルと住まい	5	
		2. 住まいと住まいの文化	①住まいの移り変わり ②生活様式と住まい		
		3. 住まいを計画する	①住空間の成り立ちと平面計画 ②平面図を読み取る		
		4. 健康的な住まい	①健康に配慮した快適な室内環境②住まいを管理する		
		5. 安全な住まい環境	①安全に配慮した住まい ②人にやさしい住まい		
		6. これからの住まいを 考える	①住生活の現状 ②住環境と地域社会 ③快適な住まいを次の世代に		
◎定期考査(期末)					
12	3編消費者として 自立する 1章 消費行動 を考える	1. 消費行動と意思決定	①主体的な消費行動 ②適切な選択をするために	4	
		2. 社会の変化と消費行動	①「買う」ことは「契約」 ②多様化する販売方法 ③適切な契約 ④支払方法の多様化と消費者信用 ⑤製品による事故と被害の救済		
		3. 消費者の権利と責任	①消費者の権利を守るために ②これからの消費者		
	食生活をつくる	5. 食事の計画と調理	第3回調理実習：ミートソースパスタ・コンソメスープ・マトレーヌ	2	
1		4. 持続可能な社会環境	①私たちの生活と資源・環境 ②持続可能な社会をめざす ③これからのライフスタイル	2	
		5. 食事の計画と調理	第4回調理実習：お弁当（自由献立）	4	
2	2章 経済的に 自立する	1. 経済の仕組みを知る	①経済の中の家計 ②家庭経済と家計管理 ③現代の家計	2	
		2. ライフステージと 経済計画	①独立して暮らす ②人生設計と経済設計		